

The way forward トップインタビュー

より強固な体質を築き、進む。

第68期の売上は前期比1.4%増の348.7億円と堅調に推移し、営業利益は70.2%増の23.6億円と大幅な増益となりました。この要因として、AI需要の高まりを背景にデータセンター投資が活況となり、付加価値の高いハードディスク表面潤滑剤の売上が伸長したことが挙げられます。またこれに加え、既存製品からMORESCO Green SX(MGS)*製品への置き換えが順調に推移したことも増益に寄与しました。第10次中期経営計画の開始から現在までの2年間は順調にサステナビリティ経営を推進しています。

部門別に見ると、特殊潤滑油部門では中国とインドを除き世界的に自動車の販売が不調という市場のあおりを受けたものの、切削油剤の販売で新規顧客を獲得し、また高付加価値製品の販売が進み前期比で増収。ホットメルト接着剤部門に関しては衛生材用途や海外需要の減少が影響し、前期比で減収となりました。一方で素材部門に関しては国内で流動パラフィンの販売が安定的に推移したことやスルホネートの販売増によって売上は前期を上回りました。

こうした状況の中、昨今のイラン情勢をはじめとする地政学リスクの高まりにより、先行きが見通しにくい環境が続いています。原材料価格の高騰や為替の乱高下によって、事業の経営に影響を受ける可能性もあります。しかし、当社は世界各地に拠点を有しており、原材料調達におけるリスク分散を図る体制の構築を進めています。さらに、新事業の創出にも積極的に取り組んでおり、ペロブスカイト太陽電池向け封止材の開発、化粧品分野でのナノエマルジョン技術の採用、ならびに半導体装置分野で需要の高いPFASフリー潤滑剤の今期中の販売開始を進めています。今後は、MGS製品の展開拡大とR&D拠点の強化により事業の体質を強化し、次なる成長ステージへと進んでまいります。

*製品の原料調達から廃棄までのライフサイクル全体を評価し、当社の7つのマテリアリティ「目指す取り組み」への貢献要素が特に大きく、環境への負荷を低減する製品を「MORESCO Green SX」として認定

株式会社 MORESCO

代表取締役社長 CEO 両角 元寿



利益を向上させつつ、環境負荷の低減を推進中!

体制強化の実施で、サステナビリティを次の段階へ

MORESCOがサステナビリティに取り組む理由

私たちがサステナビリティ経営を推進しているのは、創業以来、独自の技術を通じて世の中をより良くすることを追求してきた研究開発型企業であり、環境への配慮や作業環境をより良くするための製品を提供するとともに、MORESCO自体を発展させるためです。また、お客様により良い製品をお届けしたいという想いは、創業の理念であり、継続的な開発の結果として、製品の品質の向上につながるものと考えています。こうした背景を踏まえ、当社技術が地球環境の持続的な発展に大きく貢献できると

考えています。現在私たちは、原材料の調達から生産、販売の各プロセスにおけるエネルギー使用の見直しを行い、効率の高い設備への更新や太陽光発電などの導入にも取り組んでいます。あわせて、カーボンニュートラルの推進として、導入事業活動における温室効果ガス(GHG)排出の削減や、環境負荷が少ないMGS製品の拡販などの活動に努めています。2025年度にはGHGの排出量を50%以上削減し、MGS製品の売上比率も38%を占める成果を挙げました。

さらなる向上を目指して挑戦中

当社のサステナビリティは本社から始まり、グローバルに事業を展開する国内外のグループ会社全体へ浸透させていく必要があります。そこで、体制のさらなる強化を目指して、「サステナビリティマネジメント部」を設置。その下に「サステナビリティ推進室」と「カーボンニュートラル推進室」を配置しました。新体制でのマネ

ジメントはまだ始まったばかりですが、まずはグループ全体のGHGの排出量とMGS製品の売上比率の管理、ならびに環境負荷に関わる重要なリスクと機会の特定から着手しています。体制強化により、グループ一丸となって社会課題の解決に貢献してまいります。

当社は「地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける」ことを目指し、社会に貢献するサステナビリティ経営を進めています。特に注力している以下の3つのテーマに対し、指標を設けて計画達成に向けた事業を展開しており、2025年度は非常に好調な結果を出すことができました。



取締役 常務執行役員 CFO
藤本 博文

カーボンニュートラルの推進



目標に向けた実施事業

- 本社および千葉工場、赤穂工場への実質CO₂排出量ゼロの電力メニューの導入を計画
- 省エネルギー型設備への更新 など

MGS製品売上比率の引き上げ



目標に向けた実施事業

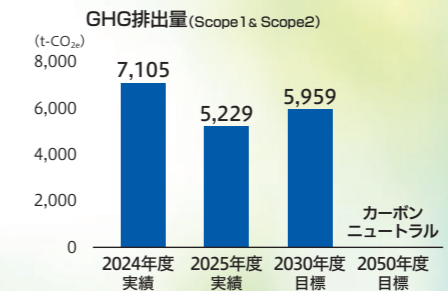
- 水溶性少量塗布型離型剤「グラフェースMQシリーズ」販売
- 反応型ホットメルト接着剤「モレスコムルトROシリーズ」販売 など

サーキュラーエコノミーへの取り組み

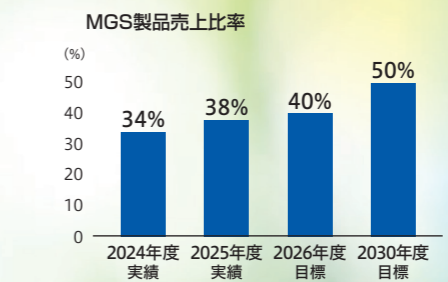


目標に向けた実施事業

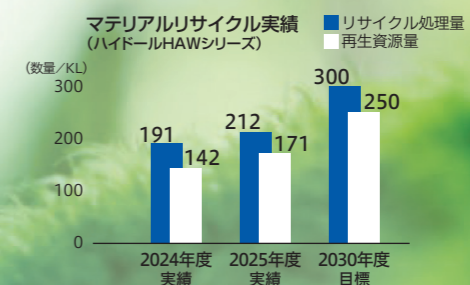
- 使用済製品を回収し、原材料としてマテリアルリサイクル
- 再精製油の利活用 など



2030年度までにGHG排出量を46%削減(2013年度比)



2030年度までに売上比率を50%へ伸長



2030年度までにリサイクル処理量300kL、再生資源量250kLを達成

MORESCO 年間トピックス

10月 | MORESCO LUBE MEXICANA S.A.DE C.V.(MMX) 営業スタート

これまでメキシコにおいては駐在員事務所を拠点に活動してきましたが、さらなる事業拡大に向け、法人組織としてMMXを設立し、10月より営業を開始しました。今後は代理店を通じた販売に加え、お客様への直接販売も展開し、収益のさらなる拡大を図ります。



11月 | 「メッセナゴヤ2025」内の特別展示「Space Approach EXPO」に出展

ポートメッセなごやで開催された「メッセナゴヤ2025」内の、宇宙の研究開発に焦点を当てた特別展示「Space Approach EXPO」に参加。当社は、耐放射線性潤滑剤、OPV(有機薄膜太陽電池)、ナノエマルジョン技術について出展し、宇宙産業への期待感の醸成に寄与しました。



11月 | 「SEMICON Europe 2025」に出展

ドイツで開催された、ヨーロッパ最大級の半導体製造装置・材料の総合展示会「SEMICON Europe 2025」にて、企業展示を実施。ご来場いただいたお客様には、PFASフリー潤滑剤をはじめ、半導体製造に関連する特殊潤滑剤をご紹介しました。



1月 | 個人投資家向け説明会を開催しました

名古屋にて個人投資家向け会社説明会を開催しました。142名の個人投資家の皆様に、当社の事業内容、業績の状況ならびに今後の成長戦略等についてご説明しました。会場内のブースでは多くのご質問やご関心をお寄せいただき盛況を博しました。



フュージョンプラントの安定稼働に不可欠な耐放射線性潤滑剤・グリース

独自技術で次世代 エネルギー創造に貢献!

当社は1980年代に、放射線による劣化(変性)を極限まで抑えた「耐放射線性潤滑剤・グリース」を開発しました。この製品は、日本の原子力技術の基盤確立に寄与した高速増殖原型炉「もんじゅ」の運用を支えたほか、長年にわたり放射線管理区域内の稼働設備や医療用検査機器の駆動部などで活用されてきました。非常に高度かつニッチな技術であるため、これまでは活躍の場が限定的でしたが、現在、新たなエネルギー技術の台頭により再び大きな注目を集めています。

その舞台は、次世代のクリーンエネルギーとして期待される「フュージョン(核融合)発電」です。フュージョン発電は、放射性廃棄物の発生量を大幅に抑え、高い安全性とCO₂フリーを実現する「究極のエネルギー」と目されています。しかし、設備内は極めて強い放射線環境下にあるため、一般的な潤滑剤では物性が変化し、機械の故障要因となります。一方、当社の製品は、照射前と同等の性能を維持できる高い信頼性を備えており、フュージョンプラントの安定稼働に不可欠なピースとして評価されています。

現在、フュージョン発電の実用化に向けて、京都フュージョニアリング(株)と提携し、実証実験ならびに設備の高度化・小型

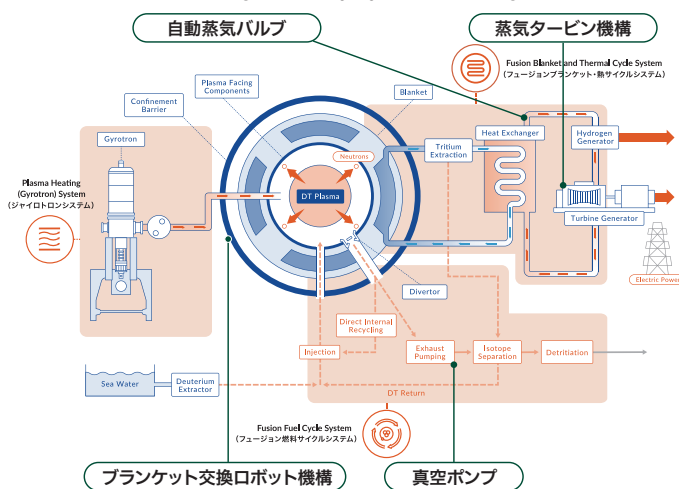
化・商用化に向けた研究を進めています。フュージョン発電は未だ開発途上の分野ではありますが、世界的な投資が加速するなか、当社はこの分野で「オンリーワン」の技術を持つ企業として、新たな事業の柱を創出することを目指してまいります。

取締役 執行役員 CTO
福田 勝人



潤滑剤の利用が想定されるフュージョンプラントの設備

The images courtesy; Kyoto Fusionering



未来が生まれる現場を体験してみませんか?

MORESCO本社・研究センターの 見学会を開催

株主の皆様へ当社へのご理解を深めていただくことを目的に、本社・研究センター見学会を開催いたします。この機会に当社の研究開発活動をご紹介します。

見学会概要

- 見学場所** 株式会社MORESCO 本社・研究センター(神戸市中央区港島南町5丁目5-3)
- 実施日時** 2026年9月29日(火) 11:00~15:00
- 参加料** 無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)
- その他** ご見学時の写真・動画撮影はお断りさせていただいておりますのでご了承ください。ご応募により当社が取得する株主様(ご同伴者様)の個人情報につきましては、本見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

応募要領

- 対象者** 2026年2月末日現在、当社株式を保有されている株主様(ご同伴者様は小学生以上の方1名まで可)
- 募集人数** 30名(ご同伴者様を含む)
※応募者多数の場合は抽選とし、2026年8月中旬頃にご当選者様にのみメールにて通知いたします。
- 応募締切日** 2026年7月21日(火)

お気軽にご応募ください!



お問い合わせ先

株式会社MORESCO コーポレート・コミュニケーション室

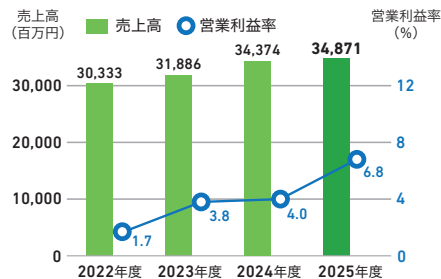
電話番号: 078-303-9058 受付時間: 土・日・祝日等を除く平日10:00~17:00

主な連結財務指標

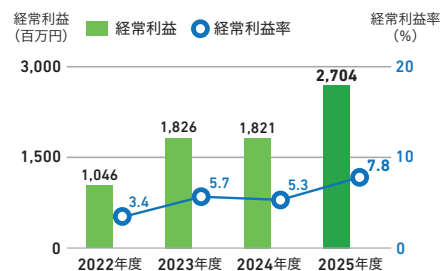
当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の関税の影響により企業収益は前期から減少したものの、エネルギーコストの低下や円安による海外収益の増加により利益は増加傾向で推移いたしました。世界経済においては、中国の景気減速に加え、米国による関税政策が世界経済に及ぼすマイナスの影響が顕在化し、製造業の生産活動の足かせとなりました。また、米国政権のベネズエラやイランへの武力行使により、原油価格の高騰が長期化する懸念があり、先行きの景気は不透明な状況が続いています。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内および中国、インドを除く海外で自動車生産台数が減少したものの、高付加価値品の販売増加、販売費及び一般管理費の抑制により、売上高は34,871百万円(前期比1.4%増)、営業利益は2,367百万円(前期比70.2%増)となりました。また、経常利益は2,704百万円(前期比48.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,525百万円(前期比50.6%増)となりました。

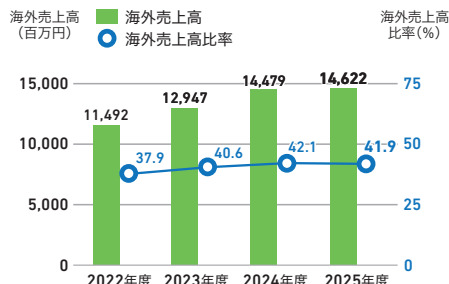
売上高と営業利益率



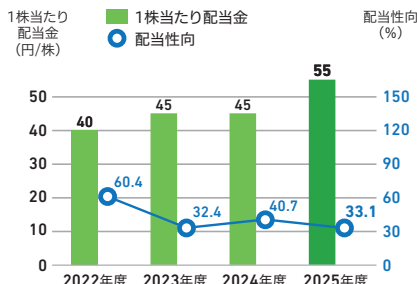
経常利益と経常利益率



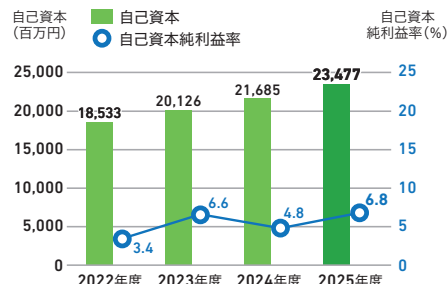
海外売上高と海外売上高比率



1株当たり配当金と配当性向

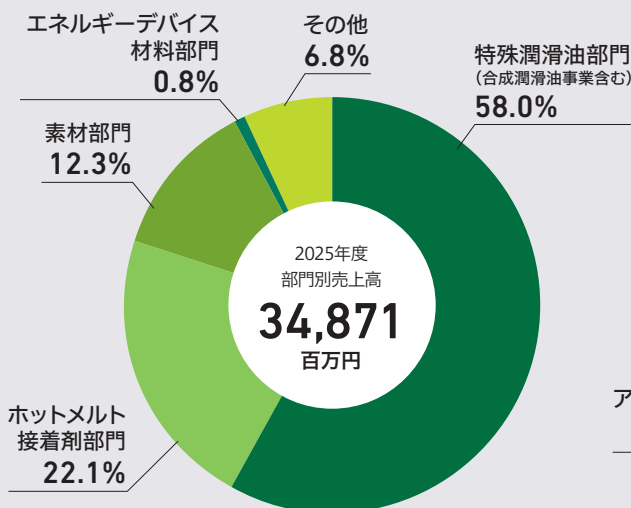


自己資本と自己資本純利益率(ROE)

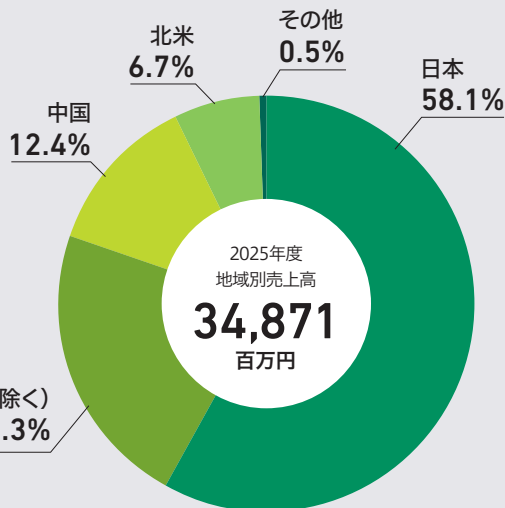


セグメント情報

部門別



地域別



株主優待のご案内

当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。今後も株主の皆様への期待に応えるため、さらなる成長を目指してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご優待内容

保有株式数および継続保有期間	優待の内容
300株以上かつ継続保有期間3年未満	QUOカード3,000円分
300株以上かつ継続保有期間3年以上	QUOカード4,000円分

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式3単元(300株)以上を保有されている株主様を対象といたします。
継続保有期間3年以上とは、2月末日および8月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記載または記録されることといたします。

※300株未満の株式を保有されている株主様が300株以上に買い増しされ、2月末日時点で300株以上を保有されている場合、300株未満の保有期間も継続保有期間に含まれます。

贈呈時期

毎年5月下旬に事業報告書に同封して郵送いたします。
※本事業報告書に同封しております。

〈当社株式の保有期間の確認方法について〉

ご自身が保有されている株式の保有期間の確認をご希望の株主様は、以下の番号にお問い合わせの上、株式の異動に関する証明書の発行をご依頼ください。

【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

【電話番号】0120-094-777(通話料無料)

【受付時間】土・日・祝日等を除く平日9:00～17:00

会社概要・株式情報 (2026年2月28日現在)

■会社概要

商号 株式会社MORESCO
設立 1958年10月27日
資本金 2,118,294,000円
従業員数 374名

■本社および事業所

本社・研究センター 神戸市中央区港島南町
5丁目5-3
電話078-303-9010(代表)
支店 東京支店/大阪支店
営業所 名古屋営業所
工場 千葉工場/赤穂工場

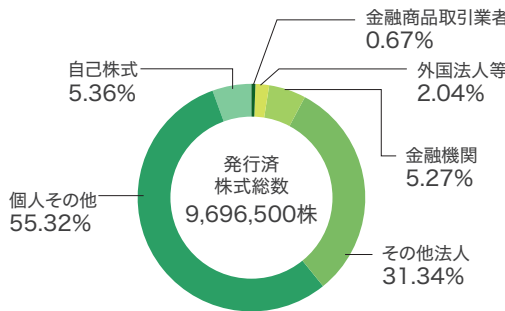
■役員構成 (2026年5月27日現在)

代表取締役社長 CEO 両角 元寿
取締役専務執行役員 COO 瀬脇 信寛
取締役常務執行役員 CFO 藤本 博文
取締役執行役員 海外担当 細見 次郎
取締役執行役員 CTO 福田 勝人
社外取締役 酒井 浩志
取締役常勤監査等委員 竹内 正
社外取締役 監査等委員 中上 幹雄
社外取締役 監査等委員 富士 ひろ子
社外取締役 監査等委員 平澤 裕紀子

■株式の状況

発行可能株式総数……20,000,000株
発行済株式総数……9,696,500株
株主数……15,733名

■株式所有者別分布状況



■大株主

株主名	持株数	持株比率
松村石油株	1,067,000	11.6%
コスモ石油アプリケーション株	503,000	5.5%
MORESCO従業員持株会	388,820	4.2%
日本曹達株	365,000	4.0%
スターライト工業株	326,000	3.6%
株みずほ銀行	250,000	2.7%
株三菱UFJ銀行	250,000	2.7%
大阪中小企業投資育成株	209,600	2.3%
島貿易株	165,000	1.8%
協同油脂株	164,000	1.8%

※持株比率は自己株式(519,320株)を控除して計算しております。

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主メモ

■事業年度

3月1日～翌年2月末日

■期末配当金受領株主確定日

2月末日
(中間配当を行う場合)

8月31日

■定時株主総会

毎年5月

■株主名簿管理人および

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目

6番3号

TEL:0120-094-777(通話料無料)

■上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う

公告記載URL

<https://www.moresco.co.jp/ir/notice.php>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)

